

所属・資格 社会学科・教授

申請者氏名 立道 信吾

研究課題		日本の企業と雇用システムの社会学的分析
報告の概要	研究目的 および 研究概要	1990 年以降の日本企業の雇用システムの変化として、人事・処遇制度の質的变化、雇用形態の多様化、職場の人間関係の変化といった現象が生じている。こうした変化の実態について、社会学の視点から実態を解明することが本研究の目的である。令和 4 年度は、過去 11 年間に亘って行ってきた、大学新卒者の採用管理に関する研究を引き続き行うと共に、近年の労使関係の質的变化の根底にある個人の意識の構造を探るため、一都三県の雇用労働者を対象とした労働者意識の実態を明らかにするアンケート調査を行った。
	研究の 結果	① 新型コロナ禍下での大学生の求職行動に注目した研究では、SNS を通じた情報収集活動に注目し、その特徴を明らかにした。 ② 労使関係の質的变化に関する研究では、企業における労働者の発言行動に注目した量的研究を行い、いくつかの特徴を明らかにした。この研究の成果は現在日本大学社会学会の学会誌に投稿中である。
	研究の 考察・ 反省	① 今年度の研究を発展させる形で、SNS を通じた情報収集行動は、コロナ前後でどのように特徴が異なるのかを明らかにするために、令和 5 年度も引き続きアンケート調査を行い、得られたデータを分析する。 ② 企業における労働者の発言行動に関して、既存の研究、主に海外の研究のサーベイが不十分であり、今後はこの作業に注力したい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>立道信吾, 2023 年 3 月, 「コロナ禍でのオンライン・コミュニケーションが大学生の就職活動に与える影響」『社会学論叢』第 204 号.</p> <p>立道信吾, 2023 年 3 月, 「研究結果の概要」「報道発表資料」、『大学生の学業成績と就職活動に関する総合的研究 第 12 次報告』. 日本大学立道ゼミナール.</p>	